



目次

- 一般質問P1～9
- 議案質疑 / 採決状況P10
- コラム / 編集後記ウラ面



田 上 明 人 議員

1. 農産物について



YouTube QR コード

八升豆を
町の特産に

新たな特産物の奨励について

問 農家の高齢化が進み、まだまだ身体は動くけど重い物を持つ事がつらいといった理由等で農業を離れる人が少なくありません。それに伴い耕作放棄地も増えつつあります。

この耕作放棄地を利用し新たな特産品を生み出そうと和歌山県農業試験場では高機能食品であるムクナ豆（通称八升豆といいます）の試験栽培に取り組んでいます。

「八升豆」は一年生のつる性植物で、国内では沖縄、熊本、新潟で栽培されており、5月中頃に苗を移植し11月から12月にかけて収穫します。

高機能食品である「八升豆」に含まれるレードーパは、体内でドーパミンに変わる天然成分です。

ドーパミンとは、やる気やワクワク感、運動機能の調節を担う神経伝達物質です

「八升豆」1粒には4～6％程度のレードーパが含まれ、このレードーパの作用として、ボケ防止効果、アルツハイマー病の予防や軽減が推定されており、パーキンソン病や瀬川病の治療法の一つとしてレードーパ製剤が用いられています。

「八升豆」に含まれる天然レードーパは人工製剤とは異なり、素早く血中に取り込まれ、その効果は穏やかに減っていく特徴があり、この特徴は不変です。必須アミノ酸9種類が多く含まれていることも有用です。

和歌山県農業試験場の栽培試験結果では「高温乾燥や病害に強く、一般畑はもとより耕作放棄地等でも比較的容易に栽培でき、今後、レードーパ等機能性成分の活用研究が進展すれば健康増進につながる和歌山県の特産作物になることが期待される」

現在、みなべ町で栽培されており今年から上富田町でも栽培され、収穫量は10アールで平均350kg程度あり、市場では高値で取引されております。

この八升豆を上富田町の農業経験豊かな高齢者の方に栽培してもらえたら農家の収入アップまた耕作放棄地の減少も期待大です。

初期投資はわずかです。ネット代、支柱代ぐらいで済み、栽培も簡単です。

生産量が増えれば上富田町の特産品になるのではないでしょう。

特産品作物の推奨について、町として何ができるのかお聞きします。

答 町の農業分野の課題である耕作放棄地で新しい取組に挑戦していただいていることに大変ありがたいと思っています。

「八升豆」については、町内にも前例のない作物でございますので、田上議員をはじめ同様に作付しておられる議員の皆さんや地域の有志の方々の取組を見せていただき、町や地域として推奨して取り組むべきかどうかなど、今後、和歌山県農業試験場やJAなどの関係者からの意見をいただき、どのような支援ができるのかを研究していきたいと考えております。



問 この八升豆を作りたいという人のために、町として畑及び耕作放棄地の貸地斡旋はしてもらえますか。

答 耕作放棄地の発生防止を図ることを目的に現在実施しておりますJAの農地調整員と連携を密にしながら、農地を貸したい方と借りたい方をマッチングさせる農地中間管理事業を推進しておりますので、これを活用して耕作放棄地の発生防止を図ってまいりたいと考えております。

いずれにしましても、この取組が農業分野における課題の耕作放棄地の解消や高齢者の働く意欲の向上、生きがい対策、町の特産品につながれば幸いに存じます。

【質問方式】 一問一答

【答弁者】 振興課副課長



正 垣 耕 平 議員

1. 地域スポーツの 振興について



YouTube QR コード

これからの
スポーツ



地域スポーツの振興について

問 スポーツ観光は合宿だけでなく宿泊、食事、周辺地域への観光も含めて、周辺の市町も巻き込んで様々な利点がある取り組みです。

スポーツ観光も地域スポーツも上富田スポーツセンターが拠点になると考える。連携や協力など、どのように把握しているか。

答 町内施設を活用し、それぞれがスポーツ観光の推進と地域スポーツの振興に取り組み、その中で連携を図っていくことが大切だと考えています。例えば、合宿に来たプロチームの練習を見学したり、子供たちは刺激と成長へのきっかけを、指導者は技術指導などを享受させていただいています。

スポーツ振興における予算について

問 各クラブは、くちくまのクラブからの運営補助と会費をもって運営をされています。コロナ禍において、活動が制限される中、形はどうであれ、予算がないから活動も思うようにいかないということもあるだろうと思う中、予算があればもっと活動できるということではなく、この予算が多岐にわたり行き届いているか、またそれが十分であるならば本当に有効活用できているかどうかを各クラブが深く掘り下げる必要がありその上で今一度、予算編成時の着眼点を見直す必要があると思うがいかがか。

答 事業予算が少ない多いは、まずは町とくちくまのクラブ、また指導者のほうと意見交換の場などつくりていきたいと考えます。その中でクラブチームにおける課題解決につながるのでは、と考えています。

スポーツの町かみとんだの今後について

問 スポーツ観光、合宿におけるスポーツ、という部分だけでなく、地域のスポーツとして、全体としてどのような方向を向いているのか。

町長 スポーツ観光については、南紀ウエルネスツーリズム協議会、地域スポーツにつきまして、特にスポーツ少年団の活動についてはくちくまのクラブにそれぞれ指定管理者や業務委託をし、町とこの民間の2団体が連携を図り、町のスポーツ観光を通しての地域活性化や介護予防、食育の推進、また地域スポーツの振興を通しての子供の体力向上や健全育成、仲間づくりなどに取り組んでいます。スポーツ観光に取り組むことにより上富田町の知名度も上がり、上富田町は活気がある町、そしてスポーツの盛んな町というイメージが定着しつつあります。このイメージが町を元気にします。

近い将来、町民の誰もが自分たちの町は「スポーツのまち」であることに誇りを持てる。そんな町を目指したいと考えています。



【質問方式】 一問一答

【答弁者】 町長・振興課長・教育委員会事務局長



吉本和広 議員

1. 新型コロナワクチンの接種について
2. 保育所や幼稚園、学校職員に対する新型コロナウイルス感染検査の実施について
3. 地域医療構想における入院ベッド数の削減について
4. 公園の整備計画について



YouTube QR コード

コロナ対策

ワクチン接種について

問 町は早期から行政、医師会、関係者の方々が協力して、職員が休日出勤し、ワクチン接種に取り組まれていることに感謝を申し上げます。今後は、いつ、だれに、どのような方法で接種するのか接種計画をつくるべきです。姫路市ではワクチンの効果や副作用などをホームページに掲載しています。広報やホームページで計画を、見込みと確定したものに分けて明記し、供給の情報が入り次第、追加して知らせるべきです。

答 60歳から64歳の方は7月中旬に接種できるよう準備しています。基礎疾患の方への案内は6月中旬にさせていただきます。7月下旬から接種できる体制を調整しています。次の対象者は60歳から64歳と基礎疾患をお持ちの方となります。

国や県からの情報も更新され、個別接種等の接種体制づくりや集団接種の日程、接種人数等についても日々研究、検討している状況で、現状では接種計画をお示しすることが困難な状況であります。決定次第、広報、ホームページ等も含めた周知方法も今後検討します。

問 個人病院で個別接種を進めると個人の事情に応じて接種できます。特に基礎疾患を持っておられる方は、かかりつけ医で接種を受けるほうが安心できます。

答 町内の先生方も前向きに検討していただいています。予約電話の受付や事務処理の実施、キャンセルの対応などの課題をどこまで解決できるかなども含め、十分協議を進めていきます。

保育所や幼稚園、学校職員に対する新型コロナウイルス感染検査の実施について

問 全国の保育所でコロナ感染が何か所で起こり、職員の感染数は何人になりますか。現在何か所が休園していますか。学校の教職員の感染数は何人ですか。

答 保育所等の数は累積値で2,775か所、職員で2,858人です。休園している保育所については56か所です。小中学校では教職員が2,637人です。幼稚園関係者は1,057人です。

問 子どもに最も多く関わるのが保育士や教員です。クラスターが起これば濃厚接触者の子どもの保護者は、子どものPCR検査への引率、結果までの自宅待機で、状況によっては2週間以上仕事を休まなければならなくなり、収入に影響が出ます。新型コロナウイルス抗原簡易検査キットの値段は、1つ900円ほどです。職員262人全員にワクチン接種終了の2月まで実施する費用は900万円ほどです。ふるさと納税で「子どもたちの健全育成と安全・安心なまちづくりに資する事業」に対して寄付された約5,800万円の15%ほどです。協田感染症研究所所長は、インド型変異株の感染力の高さから、インド型に置き換わる可能性は

高いと分析しています。感染が起こってからでは遅いのです。寄付金などを使って先手先手の感染防止を行うべきです。

答 第5波の感染拡大が起こる兆しが見えたら、早めに予防対策として、その点も含めて校医と相談していきたくと考えています。

県地域医療構想における田辺圏域の入院ベッド数の削減について

問 2025年までに田辺圏域では382床の病床削減が進められています。紀南病院でコロナ過の状況を伺いました。「予定していた手術も緊急のもの以外は後に回して入院患者を減らし、コロナ感染者用に60床を用意しました。和歌山市からも15,6名が搬送され、最大47名が入院しました」

南和歌山医療センターの看護師さんに話を伺いました。「一般病床50床を中度、軽度の感染者病床21床に変更し、超過勤務がひどくなった」。医療は余裕を持っておかないと対応できない、このことがコロナによって明らかになったのです。町は、病床削減の計画の変更を会議で伝え、近隣市町村と連携して取り組むべきです。保健医療に関する県民意識調査において、和歌山県地域医療構想を「知っている」がたった3.3%、ほとんどの方が知らないと答えています。県が田辺圏域の住民に対して説明会を持つよう要望すべきです。

答 近畿ブロック知事会は、新型コロナウイルス感染症で見えてきた課題を踏まえ、改めて2025年に必要な病床数を示すことなどを要望しています。

県も新型コロナウイルスの影響は十分認識されていると考えられます。町は、病床については一律に拙速に減らされないよう、今後の動向を注視し協議していきます。地域医療構想調整会議では、今後は新型コロナウイルス感染症の対応等を考慮した医療計画の策定を念頭に会議がなされると思いますので、説明会の要請については会議の状況を見まして検討してまいります。

公園の整備計画について

問 町の人口は、地域により大きく変化しています。市ノ瀬南岸、南紀の台、パブリック地区には、若い世帯の人口が増えています。その地域から公園をつくってほしいという要望があります。公園基金を作り、少しずつ貯めて計画的に作るべきではありませんか。

答 現時点では新たな公園の整備は考えておりません。市ノ瀬は北岸に整備したので地域を大きな目で見えて活用していただきたい。南紀の台とパブリック地区は、近くに大きな新庄総合公園があります。保護者の判断と許可の下にお願いしたい。

【質問方式】 一問一答

【答弁者】 町長・副町長・福祉課副課長・福祉課長
長寿課長・振興課長



松井孝恵 議員

1. 公共施設・土地の樹木の管理について
2. 田んぼの減少と浸水災害について
3. 機構改革と文書管理について



YouTube QR コード

豪雨への
対策は

「田んぼの減少と浸水災害」について

問 地球温暖化という言葉を目にするが何が事実なのか。太古の恐竜がいた頃、地球は50℃近くあったようだ。年間降水量は近年減っているようで、台風の発生数も変化は特になく、気圧の低い大型台風は過去のものが多い。とは言うものの、確かに気象の変化は感じられる。CO2の影響なのか、長い目でみた地球の胎動なのか、それとも太陽の影響なのか原因はわからないが、雨の降り方は変わってきたと感じている。近年の雨の降り方について、何か感じておられるか。

答 近年の雨の降り方について、短時間で非常に強い雨が降るようになった。数十年に一度の「大雨特別警報」が毎年、国内のどこかで発表され、線状降水帯により豪雨被害が発生している。町内においては、台風の影響で平成30年度に3回、令和元年度に1回避難勧告を発令した。

問 役場の周りに住宅が増えてきている。喜ばしいことです。大型商業施設も進出してこられるようで大変便利になってきたと思う。他の市町村の方から、上富田町は羨ましいとよく言われる。良いことづくめ人口も増えているが心配することは、土地が段々、田んぼが変わってきて大雨が降った場合に住宅浸水の危険はないのかと思う。

役場周辺の田んぼの面積は近年どのように変化しているか。

答 農用地面積は年々減少しています。平成26年度の農業振興地域整備計画の水田面積は218ha、令和3年現時点では約205haです。（※7年で約6%減）役場周辺の水田面積は特に大きく変化しており、朝来字沖之芝、生馬字両新田の平成23年の農用地面積は約13.9ha、令和3年では10.3haと3.6haの減少となっている。（※10年で約26%減少）

問 町は富田川の砂利採取をし、河床は随分下がってきている。各支流についても土砂を排除していただいた。問題は、役場周辺の住宅地に変わってきた土地に付随している用水路である。元々は、生活排水程度、あるいは田んぼに水引く程度の計画で水路は造られている。雨が降ったらそれは一旦、田んぼに溜まって、その後数日かけて蒸発するか地面に浸透していく。田んぼを埋めて、舗装したらそ

の面積に降った雨は全て用水路に向かって流れていく。容量がなかったらあふれる。役場周辺の降雨量と水路との関係で排水量などを計算されたことはあるか。

答 役場周辺の近年の年間降水量が、2,100ミリです。10年前が1,700ミリ程度で、約400ミリ増加しています。排水路は当時の基準で施工されています。周辺の状況や雨の降り方も変わったことから、水路があふれることにつながっていると考えます。また、稲作の時期には水路を堰板で止めて田んぼへ水を入れるため、急な雨で堰板を外すのが遅れると水路からあふれる場合があります。

問 個人が田んぼを売ったり、家を建てたり、企業が経済活動することに誰もストップはかけられない。

災害対策と開発行為は微妙なケースがあると思う。例えば、今、市ノ瀬、家が増えている。高台に、いわゆる河岸段丘に昔の人は家を建ててきた。ため池の谷間に家を建つようなことはほとんどなかった。でも最近はそういうケースも出てきた。勿論、家を建つのは個人の責任なのですが、私が今言ってるこの役場の周辺の浸水も、全然そうならないかも知れないが最近の雨の降り方を見ていたら危険を感じる。用水路の改修、それからいざという時の避難の経路など研究しておく必要はないか。

答 用水路の改修については、あふれるところを部分的に改修してもまた他のところがあふれる可能性があるため、下流より改修する必要があります。しかし、費用面からすぐにできるものではないため、今後研究していきたいと考えます。

まずは、洪水ハザードマップを活用していただき、災害時にはどの道を通ってどこへ避難するか。日頃より、職場や学校、ご家庭などで話し合いの場を持っていたらと思います。

※ この他
公共施設・土地の樹木の管理について
機構改革と文書管理について
の2項目について質問をしています。

【質問方式】 一問一答

【答弁者】 総務課長・振興課副課長・建設課副課長



家根谷 美智子 議員

1. 新型コロナワクチン接種について
2. 自転車の活用推進における地域振興について
3. 歴史的資産の保全整備について



YouTube QR コード

サイクル
ツーリズムで
広域連携

小中学生のワクチン接種は

問 12歳以上への接種が始まった場合、小・中学生は集団接種になるのか。

答 小・中学生の接種方法は現段階では集団接種を考えているが今後、個別接種が進めば変わっていく。各県立高校の学生の接種は、県対応の接種として頂くよう田辺周辺広域市町村圏組合に相談して、県に要望していきたい。

サイクルツーリズムで地域活性

問 サイクルステーションがオープンしている。大人の社会塾紀州くちくまの熱中小学校の生徒が地域振興と事業化を目指し起業。電動アシスト付マウンテンバイクを中心とした貸出し事業と日帰りサイクリングツアーを展開。ちょうど1年経つが、稼働状況と地域振興の取組状況は。

答 稼働状況は、貸出し台数130台、利用者や視察、打合せ等の訪問人数が約500人となっている。この交流人口については、Eバイク利用者の他JALや公共交通機関、観光庁、和歌山県、旅行会社、観光団体等、クミッチのEバイクとパッケージを組んだ商品開発の提案や、打合せ等来店されたものである。今後、ワーケーション事業や移住推進を進めていく上で、このサイクルツーリズム事業は紀南の魅力に付加価値をつけるものだと考えている。

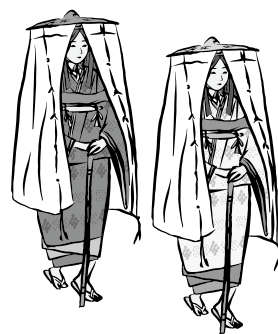


水垢離場の復活を

問 紀伊山地の霊場と参詣道の世界遺産に追加登録された稲葉根王子は、数ある王子社の中でも格式高い五体王子社のうちの一つである。昔は熊野詣での前に、ここ口熊野で水ごりをしたと記録されているが現在、水ごり場がなく名残の石碑だけである。この地を訪れ熊野へ向かう人々に少しでも気分を味わってもらえるよう復活できないものか。



答 2016年に世界遺産に追加登録された八上王子跡、稲葉根王子跡、それと一瀬王子跡、この3王子跡巡りについては、現在、地元口熊野かみとんだガイドの会の皆さんがその歴史を後世に伝えるべく、日々語り部の研修や後継者の育成、また熊野古道の整備に取り組んでくれている。町としても、歴史的に熊野参拝時の重要な場所として、この水ごり場を後世に語り継ぎたいと考えている。大雨が降っても大丈夫な工夫を考え、水ごり場の復活に向け関係機関と協議を進めていきたい。



【質問方式】 一問一答

【答弁者】 町長・福祉課長・教育委員会事務局長・振興課長



中井 照恵 議員

1. 災害時の避難路と
道路の安全対策について
2. 未来の町のための若者支援について



YouTube QR コード

安全対策を
しっかりと

災害時の避難路と道路の安全対策について

問 災害時、高台の朝来小学校に避難が必要な場合、コミュニティセンター横の竹藪の階段が避難路となることは想定されているか。

答 徒歩で避難される方は避難路として通られることは想定される。

問 竹藪の階段は、通学路としても利用されている道で、避難路としての役目もある道なので、ご年配の方々も安心して通れるように階段の安全面や環境整備について考えていく必要があると考えるが、町の考えはどうか。

答 大がかりな改修工事は難しいが、関係各課と協議を行い、滑り止めの対策や、それが難しい場合には注意喚起の看板の設置などを考えていきたい。



問 町道南紀の台1号線は、以前から何度か土砂崩れが起きている場所があるが、今までどれ位の規模の土砂崩れが何回あったのか。

答 令和3年3月2日、のり面が壊れ、落石があった。過去から小さな崩落等が5回以上あるが、今回のようにのり面が壊れ、道路の全面通行止めを行ったのは初めてである。

問 この町道のすぐ横は、土砂災害特別警戒区域に指定されている。町内会から毎年のように安全対策についての要望が出されているが把握しているか。

答 町内には570か所の土砂災害特別警戒区域がある。この町道の現場もその中の一つ。町内会からの要望も十分把握しているが、のり面の高さが40メートルあり、上の方で崩落が起きると防護壁を設置しても飛び越えてしまうような状況になる。

問 この町道は子どもたちの通学路であり、国立南和歌山医療センターへの通院にも利用される広域的な役割もある。度々崩れてしまうのは危惧されるべきことではないか。

答 町道に隣接するのり面で特に危険と思われる箇所については、今後安全対策として看板を設置したい。こののり面は、全てが民地であり、地権者に対して安全対策管理を行うよう、以前から指導している。

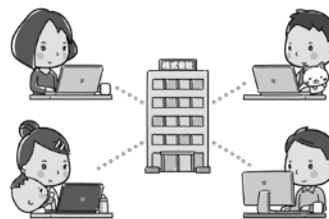


未来のための若者支援について

問 和歌山県では、学生向けに日本学生支援機構の奨学金の助成支援を行っている。しかし、その条件の対象にならない学生もいる。上富田町の若者支援として、県での支援の対象外の職業につく若者に対し、町に定住しながら町内や周辺市町に就職したり、都会の企業に勤めながらも生活基盤は上富田町に置き、テレワークなどで働いていく若者たちに対し、町独自に奨学金の助成支援を行ってはどうか。

答 町としても、15歳から24歳の年齢層が定住してもらえるような、また大学卒業後にUターンしてもらえるような施策が必要と感じている。こういった形態が最適か、今後幅広い視点で検討していく。

町長 今後も、この支援については協力的、計画的に協議していきたい。



【質問方式】 一問一答

【答弁者】 町長・総務課長・建設課長・振興課長



九鬼裕見子 議員

1. 高齢者福祉と交通権について
2. コロナ禍での避難所対策について
3. ごみカレンダーの変更について



YouTube QR コード

乗り合い
タクシーの
導入を

高齢者福祉と交通権について

問 第5次総合計画の中の生活基盤の整備として、くちまのコミュニティバスの今後についてふれられている。

私が再三、高齢者の移動手段について取り上げているのは、7年前ある高齢の方から、「1週間に1回でええ。小さな車で迎えに来てくれて、1人だけ乗るんとちごて2, 3人で待っついて、乗せてもらえたら助かるよ。1週間が無理だったら、1か月に1回でもええよ」というささやかな願いの声を託されたことが始まりである。

赤バスを廃車する際、見直しがされ、高台の方も利用できるように期待したが、結局利用しづらく利用していないのが現状。

健康で文化的な生活が営めるまちづくりと掲げていても、弱い立場の方を置き去りにして、しあわせなまちづくりと言えるのか。

交通手段を持たない高齢者にとって、いつまで待てば改善されるのか。この現実を行政と第5次総合計画が絵に描いた餅ではなく、高齢になっても安心して暮らし続けられるまちにするため、具体的に今後どのように進めて行こうと考えているか。



答 バスの償却が3年で終了する。現在の改正案も運行しつつ並行しデマンドタクシーの研究なども必要であると考えている。交通権の対応について、包括支援センター、社会福祉協議会などと連携し、外出支援サービス事業をより充実、拡大していく事も方法の一つと考えている。高齢者の方々が安心して暮らし続けられるよう各機関が連携し取り組んでいきたい。

ごみカレンダーの変更について

問 今年度のごみカレンダーについて、苦情や困っている声が聴かれた。誰が見ても利用しやすいカレンダーから、今回のカレンダーへ変更になった理由、高齢化が進む当町の現状から、何に配慮しての変更か。

答 これまでごみカレンダーを身近に利用していただくため、町イベント等情報を掲載し、町イベントの取りまとめ時期との兼ね合いで年2回の運用をしていたが、ごみカレンダー作成削減のため紙質を薄くする対応を行った。

町内会への配布依頼回数を減らし、年1回の発行により印刷に係る費用を抑えている。今後、みなさんの意見をいただきながら、わかりやすい内容に反映させていく予定。



※その他
コロナ禍での避難所対策
についても質問をしています。

【質問方式】 一問一答

【答弁者】 振興課長・総務課長・住民課副課長



木本眞次 議員



YouTube QR コード

町長に聞く

1. 町長の政治姿勢

町長の政治姿勢

問 奥田町長は、上富田町 60 年余りの中で、議員から立候補され、当選されたのは初めてであり、財政面でご苦労されたのでは。

また、二期目に向けて課題と抱負についてはどうか。

必ず健康保険証を添えて窓口へ

(子) 子ども医療費受給資格証	
公費負担者番号	8 1 3 0 0 4 2 8
受給者番号	
氏名	
住所	
氏名	
生年月日	
住所	
有効期間	
発行機関名	和歌山県西牟婁郡
及び印	上富田町長
交付年月日	

※裏面をよく読んでください。

子ども医療費助成制度（令和元年度）
中学校卒業までの医療費無償化を実施しました。



岩田公民館建て替え（令和元年度）

町長

行政経験がない状況で早急な対応や判断ができなかった。皆さまには大変ご迷惑をおかけしました。

喫緊の課題としまして高齢者のワクチン接種を早く終わらせ、64 歳以下の基礎疾患のある方や、一般の方へのワクチン接種を早急に進めていきたい。

町民の皆様が健やかに安心して暮らし、そして未来を託す子供達が輝く町づくりを目指して進めてまいります。



小中学校における空調設備設置（令和元年度）
児童の熱中症対策に取り組みました。



新型コロナワクチン接種事業（令和 3 年度～）

※写真は町長答弁より抜粋

【質問方式】一括

【答弁者】町長



山本 哲也 議員

1. 国土強靱化地域計画について



YouTube QR コード

計画の見直しを

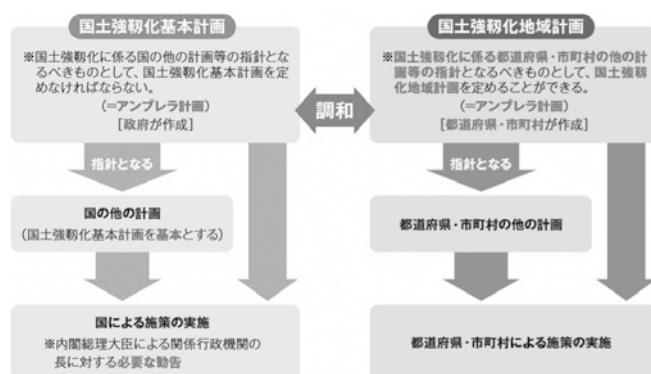
国土強靱化地域計画について

問 国は、平成25年12月に強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法を公布、施行し、強靱な国づくりを推進しています。この基本法第4条では、地方公共団体は、国土強靱化に関し、地域の状況に応じた施策を総合的かつ計画的に策定し、及び実施する責務を有するとされています。

内閣官房国土強靱化推進室が平成29年6月6日に公表した国土強靱化地域計画策定ガイドラインでは、「地方公共団体が国土強靱化を進める第一歩として、国土強靱化地域計画を策定することは、その責務に鑑みても、合理的であり、意義あること」と明記され、その必要性を説いています。

国土強靱化地域計画の期間について、国のガイドラインでは、おおむね5年間で計画内容の見直しを行うこととあります。当町でも地域計画の中に、平成27年度より、「5か年計画で改修できていない箇所の調査や指定・公表をする」と記載されており、内容も現在と相違するものが各所に見られます。脆弱ポイントに対する今後の取組、対応方針の指標に平成32年と記載があり、評価を行い計画内容の見直しをするべき年を既に過ぎていていると考えますが、見直しは行わないのでしょうか。

答 計画策定が平成28年10月であり、今年度で5年が経過しますので、今年度中に計画の見直しを予定しております。



国土強靱化地域計画

平成28年10月

上富田町

【質問方式】 一問一答

【答弁者】 町長・総務課長

6月議会 会期（令和3年6月2日～16日） 15日間

6月定例会に町長から提出された案件は、条例関係等4件、令和3年度一般会計・特別会計予算5件、追加議案として人事案件3件です。いずれも原案どおり承認・可決・同意いたしました。

予算・条例等

第2回6月定例会
議案審議/採決の様子



件 名	結果	内 容
令和3年度上富田町特別会計 宅地造成事業補正予算（第1号）	承認	令和3年度上富田町特別会計宅地造成事業についての補正予算。令和2年度の決算において、歳入不足が生じたため、5月31日付けで専決処分をし、前年度繰上充用金をもって充当補填したことを報告し承認を求めるもの
令和3年度上富田町特別会計 住宅新築資金貸付事業 補正予算（第1号）	承認	令和3年度上富田町特別会計住宅新築資金貸付事業についての補正予算。令和2年度の決算において、歳入不足が生じたため、5月31日付けで専決処分をし、前年度繰上充用金をもって充当補填したことを報告し承認を求めるもの
上富田町手数料徴収条例の 一部を改正する条例	可決	行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、地方公共団体情報システム機構がマイナンバーカードの交付に関する手数料の額を定めるため、本条例におけるマイナンバーカードの再交付手数料の額についての規定が不要となることから、本条例の一部を改正するもの
上富田町手話言語条例	可決	手話に関して基本理念を定め、町の責務並びに町民の役割を明らかにすると共に、町民の手話に対する理解の促進及び、手話の普及を図ることを目的として、この条例を規定し、制定するもの
上富田町学童保育所の設置及び 管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	第一あすなる学童保育所及び、第二あすなる学童保育所の地番変更と、なごみ学童保育所を追加するため、本条例の一部を改正するもの
上富田町立児童館設置に関する 条例の一部を改正する条例	可決	児童館の管理に関する所管について、機構改革により、教育委員会から福祉課に移管したことから、施行に関し必要な事項を定めていた教育委員会規程を、町長部局の規程に変更するため、本条例の一部を改正するもの
令和3年度上富田町 一般会計補正予算（第1号）	可決	既定額に 2億73万6千円を追加し、予算総額を 65億1273万6千円と定めています。 (主な内容) 民生費 子育て世帯生活支援特別給付金 1380万円 衛生費 新型コロナウイルスワクチン接種事業費 6480万3千円 商工費 かみとんだ地域活性化商品券支給事業費 7850万円 新型コロナウイルス感染症予防対策認証制度奨励金 1210万円 歳入については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や国庫補助金、繰入金、諸収入などを見込み、措置しています。
令和3年度上富田町特別会計 介護保険補正予算（第1号）	可決	既定額に 157万8千円を追加し、予算総額を 16億3567万8千円と定めています。 (主な内容) 過年度分の事業実績に伴う支払基金への返還金等
令和3年度上富田町水道事業会計 補正予算（第1号）	可決	既決予定額に 700万円を追加し、資本的支出合計を 3億8693万2千円と定めています。 (主な内容) 老朽化による、岡、葛原地区の送配水管布設替に伴う設計業務委託料
上富田町議会会議規則の 一部を改正する規則	可決	議員活動と家庭生活との両立支援策をはじめ、男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として活動するに当たっての諸要因に配慮するため、議会への欠席事由を整備すると共に、出産について母性保護の観点から産前産後の欠席期間を規定し、議会への請願手続きの際、一律に求めている押印の義務付けを見直し、署名又は記名押印に改めるもの【発委第1号】

check!
表紙 / ウラ面

人事案件

上富田町教育委員会教育長の任命について

任期満了に伴う上富田町教育委員会委員長の任命について、議会の同意が求められ、全会一致で同意しました。

上富田町岩田 宮内 一裕(再任)

上富田町教育委員会委員の任命について

上富田町教育委員会委員の任命について、議会の同意が求められ、全会一致で同意しました。

上富田町生馬 植本 宣孝(新任) 上富田町朝来 深見 将史(新任)

『上富田町手話言語条例』が6月議会で制定されました

今回の上富田町手話言語条例について、たなべ聴覚障害者協会（田辺市・上富田町・白浜町・すさみ町）の愛瀬会長よりお話しをお伺いしました。



たなべ聴覚障害者協会
愛瀬貞夫会長

Q 手話言語条例とは詳しく教えて頂けますか？

愛瀬会長 長い間、ろう学校では手話は禁止されていました。主に口の形を読み取る口話法教育が行われ、法的にも手話は言語とは認められず、その為、ろう者は社会の色々な場面で不利益を被ってきたのです。2006年国連障害者権利条約が全ての加盟国により採択され『手話は言語』であることが世界的に認められました。耳が聞えない人々が手話という母語を持ち手話でコミュニケーションをとって日々の日常生活を送るためにも『手話言語条例』はとても重要な位置づけとなります。

Q 耳の聞こえない方への配慮で気を付けて欲しい所はありますか？

愛瀬会長 耳が聞えない方は外見では分かりません。また周りの人とコミュニケーションが取れない等「分かりにくい障害」とも言われています。私達との会話は筆談、筆記、身振りなどで伝えて頂きます様お願い致します。

Q 最後に会長より町民の皆さんへメッセージを

愛瀬会長 聞こえる人も聞こえない人も共生社会にむけて、一緒に手を取り合ってほしいと願います。私達は手話サークルや色々な活動もしています。来年2月には上富田文館で『咲^えむ』という映画を上映します。是非、皆さんお誘いあわせの上お越し下さい。

編集後記

「議会だより」をお届けします。

議会広報特別委員会では今回初めて対談記事を集めました。

紙面等へのご意見、ご感想があればどしどしお寄せ下さい。一般質問の様子は、上富田町議会 YouTube チャンネルでご覧いただけます。



町議会に関する情報は
「議会ホームページ」へ



議会
YouTube QR コード